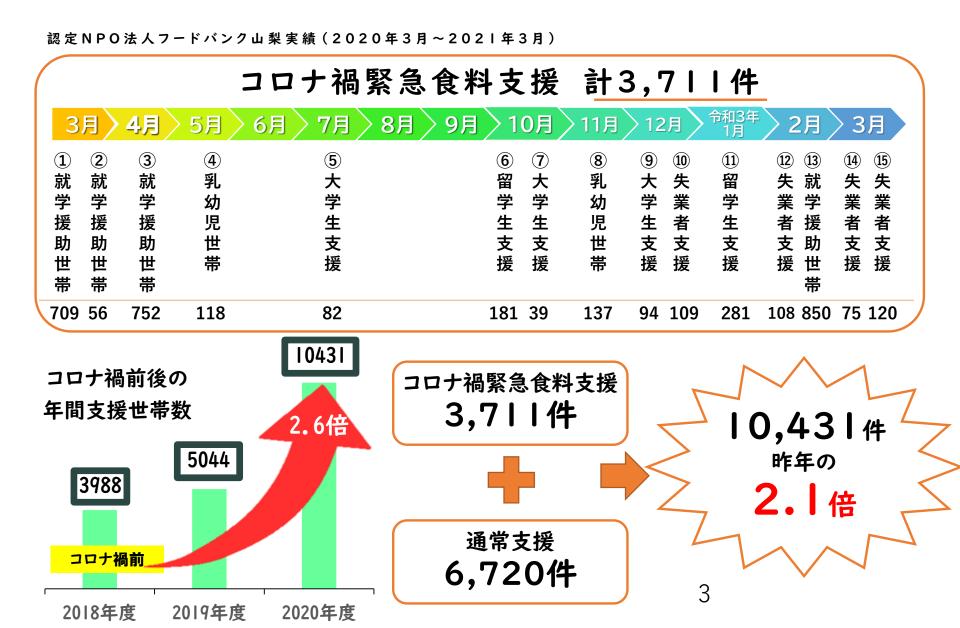


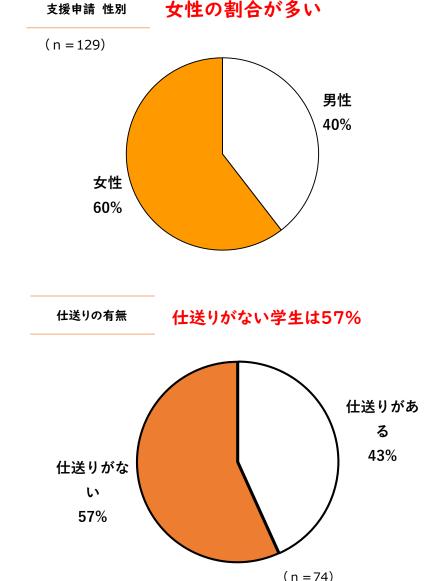
フードバンク山梨の活動概要

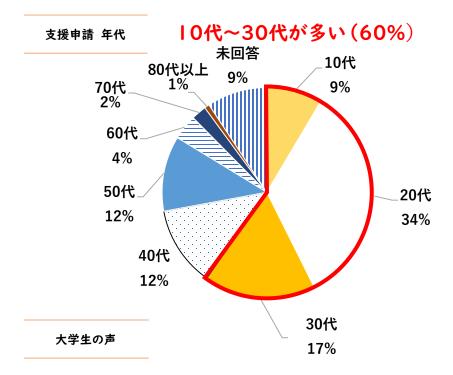
- Ⅰ 食品ロス削減
- 2 コロナ禍での緊急食料支援
- 3 既存のフードバンク活動
 - ・食のセーフティネット事業
 - フードバンクこども支援プロジェクト
 - ・乳幼児応援プロジェクト
 - ・学習支援「えんぴつひろば」「ももっ子クラブ」
 - ・相談支援事業
- 4 福祉施設・団体との連携
- 5 市民のフードバンク活動への参加促進

コロナ禍におけるフードバンク活動



コロナ禍緊急食料支援 困窮者アンケート調査



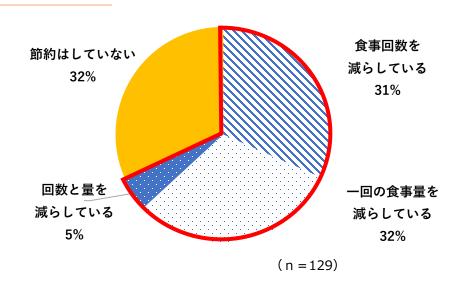


- ・生活がギリギリで、切り詰めていかなければ ならないので、精神面でもかなり大きな影響 を受けている状況です。
- ・生活費が捻出できず、アルバイトを続けているため、学業だけに集中できない。
- ・このまま教師になる夢を目指していいのかと 金銭的に考えました。

コロナ禍の当法人と内閣府調査

食事の節約について

回数と量を減らしている(68%)



- ・十分に食材を買うことができないので、安い<u>もやし</u>で量を増や している。
- ・偏った食事しか用意できない。
- ・母と子の二人暮らしで頼れる人がいないが、自分が新型コロナウイルスに感染してしまったら、誰が子どもの面倒をみてくれるのか不安だ。
- ・パートのシフトが減り、収入が減った。

が関えない経験があっ 学どもが大学進学を目指 学ともが大学進学を目指 が関えない経験があっ

を 2年生とその保護者5千組を 調査は今年2~3月、中学 調査は今年2~3月、中学 調査は今年2~3月、中学

子ども貧困教育に影響子どもの貧困一受けている実態が浮き彫りに「715組。中間

政府調査

親世帯は30・3%だった。食料が買えなかったほかった経験があった」と回答った経験があった」と回答のに発験があった」と回答のに発験があった」と回答のに発験があった」と回答のに対している。食料が買えなかった。食料が買えなかった。食料が買えなかった。食料が買えなかった。食料が買えなかった。

を合わせて25

貝えはかつに」計3/./

_

コロナ禍支援の様子

休校中の子ども達 延べ1517世帯



大学生 215名



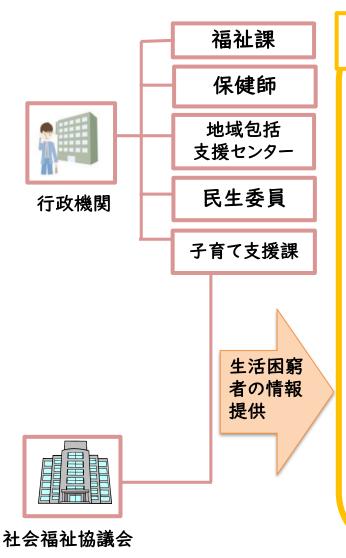
乳幼児のいるご家庭 255世帯



留学生 462名



既存のフードバンク活動 食のセーフティネット事業の仕組み



フードバンク山梨 🧑 の役割

食料支援



月2回、最大3ヶ月困窮世帯へ 宅配便で食品と手紙を配送

高齢者 失業者 ひとり親家庭 外国人 路上生活者

食料

支援

世帯に合わせ、心を込めて食品を箱詰め

2020年度は延べ4,023世帯へ約38トンの食品を発送



- ・毎月2回、ボランティアと共に食品を梱包し、配送
- ・個人別ファイルの家族構成にあわせて食 品箱詰めを実施



- ・お菓子が沢山入った家族用の箱
- ・箱の重さ:1~2人世帯は平均7kg、3人以上の世帯は12kg

子どもの貧困を知った一通の返信ハガキ

品物が届きました。当日私は前日か ら続く偏頭痛で伏せっていました。 孫は朝から玄関にハンコを用意して 待っていました。 ここに書くのは恥ずかしいのですが、 ここ数年ほんとに大変な思いをして ました。2年前、1日に豆腐1丁し か食べさせることが出来ない時があ りました。体の大きな孫は空腹で眠 れずに夜中にフト気付くと台所で ボーッと立ちすくんでいました。そ の姿は、今でも忘れる事が出来ませ ん。今皆さまにこうして 助けていただいて 本当に感謝しています。

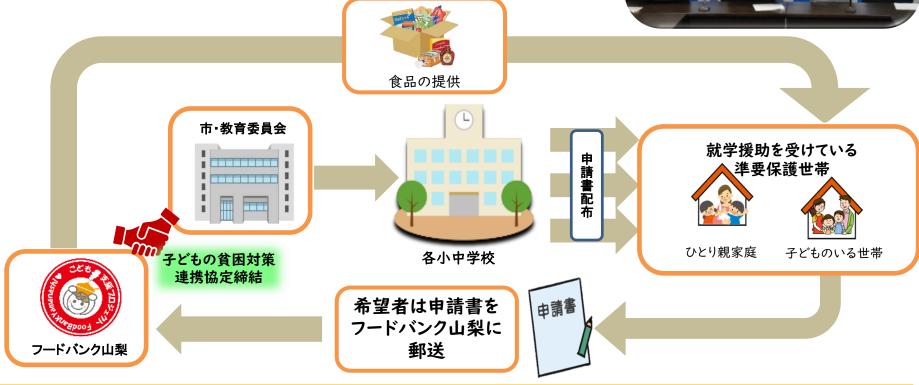
(祖母と孫の二人暮らし)

全国初 フードバンクこども支援プロジェクト

行政・学校・NPOが連携して子どもの貧困対策に取り組む活動

夏休み・冬休みの給食のない期間に、小中学生のいる困窮世帯に集中的に食料を支援します。**8市2町 | 村**と「子どもの貧困対策連携協定」を締結して実施しています。





活動は多くのボランティアと共に

子どもからの手紙

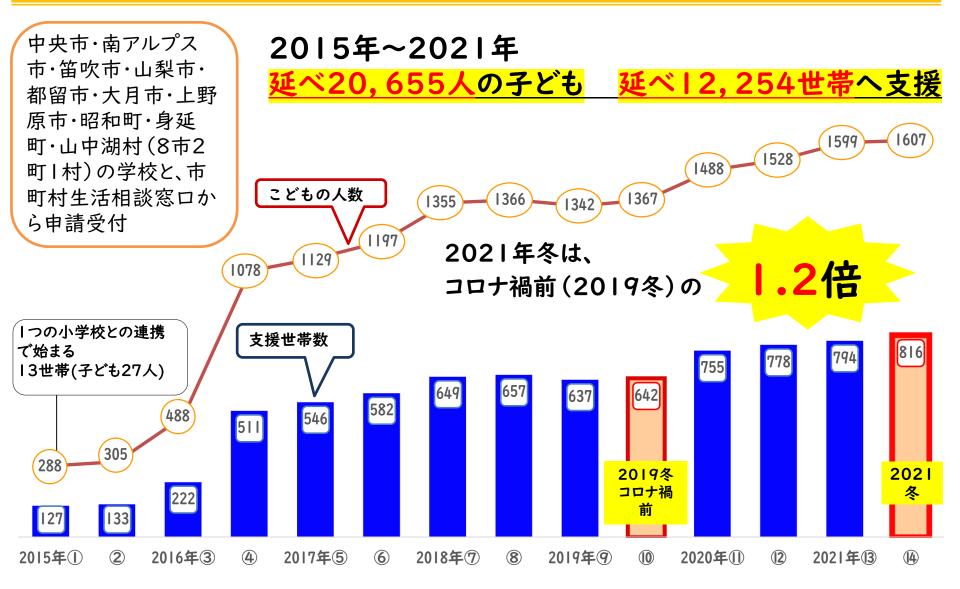
あけた時にいつもにこにこしてしまいます。 私も人を助ける仕事や人の役に立つ仕事にしょうらいつきたいです。 フードバンクのみなさん、いつも、いつも届けていただき本当にありがとうございます。





コロナ禍前の箱常作業

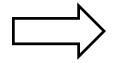
フードバンクこども支援プロジェクト利用世帯数推移



乳幼児応援プロジェクトの始まりは利用者アンケート

(2016年)

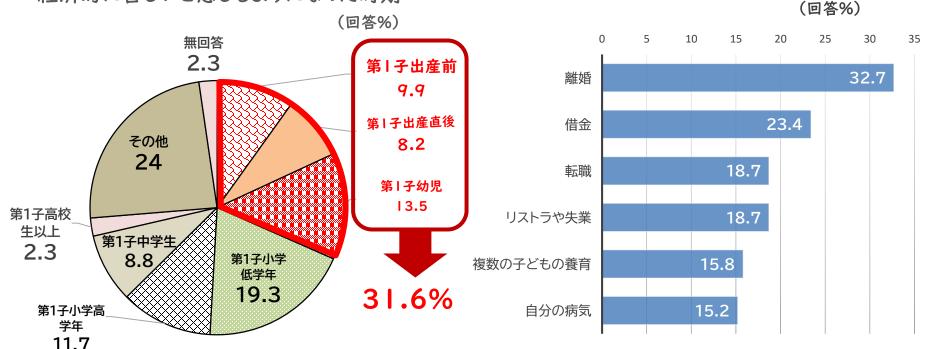
経済的困窮 早い時期から深刻



出産、幼児期が3割

経済的に苦しいと感じるようになった時期

経済的に生活が苦しくなったきっかけ



- ●経済的に苦しいと感じるようになった時期は「乳幼児期から」という回答が31.6%
- ●オムツやミルクが不足した経験「あった」と答えたのは41.5%
- ●「自殺したいと思った」と答えたのは22.2%

保育士へのアンケート調査の記述欄から

衣類がカビている。サイズのあって いないものを着ている。 着替えていない(何日も)

500円前後の集金を「月末まで待ってほしい」と言われる。

お風呂に入っていない。虫歯が多い。病気やケガの手当てができていない。

食べることに執着することが多く、 床に落ちている(他の子が落とした もの)ものまで食べようとしていた。

朝食を食べておらず、外へ遊びに行ったが、フラフラと部屋の方へ歩いて戻ってきて、テラスに倒れ込んだ。

保育料が引き落としする日に残高 がないのか、毎月されず、後日園 に保育料を持ってきて支払う。

学校現場から見える子どもの貧困

2016年教員へのアンケート調査 聞 2017年(平成29年)2月12日(日) 28 ら有効回答があった。 2人の教員のうち15 もが貧困状態にあると 実施した。子どもの支9月29日~10月20日に 「子どもの貧困への対応は」 接活動で関係の深い小 45 紙を送った。計2 何らかの支払い、集金の未納 バンク山梨」 回答は約3割にとどまり、十分に手を差し伸べられていない現状をっていることを改めて印象づけた。ただ「学校が対応できた」との貧困状態にあると感じたことがある」と答え、教育現場の課題にな 浮き彫りに できていない 昨年度以降、子ど (回収率72%)か ルプス市のNPO法人は「子どもの貧困」をめぐり県内の小、 できていない トは 32 子どもの衣服の汚れ・綻び 小中学校教員アンケ 家庭訪問の際に親から困窮状 じるか」と質問。五つ対応ができていると感時、学校として十分なある子どもを発見した ら複数回答で選んでも 状況」を11の選択肢か とに気付いた「場面・ ることになる。 貸しさに直面する子ど %は「ない」と答えた。 集金の未納」の26%だ かったのは「支払い もの存在を目にしてい 感じたことがあるか」 し、ほぼ半数の教員が、 深刻な状況にあるこ 況に関する話はなかったが、・・・ たところ、 ほころび」の18 「ある」と回答 結果をまとめた。 体調·健康面 14 「衣服の 最も多 学習意欲 子どもからの訴え 14 「あまりできていない」 らったところ、 の51%が「わからない」 の選択肢から選んでも 学用品などが買えないことが 13 「子どもが あった 12 体格 %で、「ややできていい」は5%だった。逆い」は5%だった。逆 子どもの行動 8 その他 も力を入れたい」 多くの人たちに、この から脱出できるよう 家庭訪問の際に親から困窮状 問題を理解してほし い。行政だけでなく、には資金も欠かせな は「子どもたちが貧困 米山けい子理事長(63) 己肯定感が低い」と答 と回答した。7割は「自 割が「学習意欲が低い」 す影響については、 6 貧困が子どもに及ぼ 況について話があった 学習支援に 家庭訪問の機会以外で困窮状 5 山梨の 況に関する相談を受けた

対象教員数	回収数	回収率
212	153	72.2%

2016年10月実施



2016年教員へのアンケート調査の記述より

運動靴がボロボロで、何年も使っているようであった。体育祭も近いので、他のはあるかと聞いたら「これしかない」と言っていた。

4月にはそろえることができず、少し ずつ学用品をそろえている。

身体測定で、体重が増えていないまたは、低下している。

部活動の大会時、お弁当を持って 来なければならない日の連絡を 電話で話したところ、給料日前で お金がなく、つくれないので "欠 席させる"という連絡があった。

身体のよごれ、髪がからまり、ボサボサになっている。むし歯が多く、 放置されている。(治療しない)

弟妹にごはんを食べさせるため、 自分はあまり食べない。



食料支援に加えて学習支援を実施

中央市…えんぴつひろば 南アルプス市…ももっ子クラブ 毎週土曜日に教員OBや学生が学習支援・居場所を提供し、子どものべ1457人が参加





フードバンク活動における日本とアメリカの比較

■ コロナ禍で支援ニーズの増加に対応するためには、フードバンク団 体の食品取扱量を増やすことが重要であり、フードバンク団体の基 盤(保管、運搬、配布能力)の強化が必要です。

	日本	アメリカ
フードバンク団体の数	156団体	200団体
フードバンクの年間取扱量	5,000トン	7,390,000トン

- 国内フードバンクの年間食品取扱量は5,000トンで、アメリカの0.07%以下
- コロナ禍でフードバンクへの支援要請は急増している一方で、支援に必要な食品が不足

日本政府からフードバンクへの支援

- 2019年5月 食品ロス削減推進法の成立(フードバンク活動への支援も明記)
- 2020年3月 政府備蓄米の無償交付
- 2020年5月 フードバンク活用の促進対策及び再生利用の促進対策等
- 2021年2月 政府備蓄米の交付要件の緩和、交付重量の増加

大規模なフードバンク活動を支える行政機関からの助成金

Northern Illinois Food Bank (北イリノイ州フードバンク) の収入のうち、<u>行政からの助成金の割合は全体の約3割</u>となっている。寄付文化が醸成されているアメリカでさえ、行政からの財政的な支援がフードバンク活動を支えるために行われています。

Northern Illinois Food Bank 収入の内訳(物品・サービスの寄付を除く)

収入	金額(IUSD=IIO円)	割合
行政機関からの助成金等	348, 192, 460円	<u>31.7%</u>
寄付等	266, 648, 250円	30.5%
サービス費用	403,746,200円	36.8%
その他	4,041,730円	1.0%
合計	1,022,628,640円	100%

出典: 三菱総合研究所(2010)「フードバンク活動実態調査報告書」P91-92のデータを基に弊会作成 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/foodbank/pdf/data1.pdf

食品倉庫規模の比較 アメリカと日本

フードバンク山梨の倉庫





シカゴの倉庫





アメリカのコロナ対策

バイデン氏、貧困層への現金支給迅速化や食料支援拡大で大統領令



2021年1月22日、バイデン米大統領は、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)の影響軽減に向け、貧困層への迅速な現金支給と通常なら学校給食プログラムを受ける子ども向けの食糧支援拡大を命じる大統領令を発出した。

ロイターより https://jp.reuters.com/article/biden-signs-executive-orders-idJPKBN29R209

農林水産省の補助事業を拡充してください

食品受入能力向上緊急支援事業(フードバンク支援事業)概要

補助対象期間	2021年 1月8日~12月31日
補助事業申請期間	(1回目)4/7~6/30、(2回目)7/1~9/30、(3回目)10/1~12/28
補助内容	 運搬用車両の賃借料 一時保管用倉庫の賃借料 入出庫管理機器等器(ハンドリフト、ハンディスキャナ、ラベルプリンタ等)の賃借料

◆現場のフードバンク団体のニーズに基づくご支援を!

- ①コロナ禍で支援要請が更に高まっています。社会的ニーズの高い活動ですので、<u>一時的で</u>はなく継続的なご支援をお願いいたします。
- ②人件費を補助対象にお願いします。

コロナ禍において、ボランティア参加者が減少しています。マンパワーの不足がフードバンク団体が抱える大きな課題になっています。

- ③事業開始時の概算払いでの補助をお願いします。
- 事業終了後の精算払いでは財政基盤が乏しい団体は一時的な費用負担が難しいです。
- ④賃借料だけでなく、食品を保管するための棚、運搬用の台車等、<u>新規の購入も対象にして</u>ください。